

親子で楽しむことも園

「夏まつり」が終りました。

野田会長様はじめ役員各位様おひ
とろおひとりの盛り上げ力のお陰様
で子どもたちからも保護者みな様
からも「楽しかった」「面白かった」「又
やりたいたい」というお声が届きます。
多教のご参加、本当にありがとうございました。

「子どもが主役・親も主役」で、互
いの盛り上げ力が発揮された、楽し
い運動会になりました。

膨らませています。
どうぞよろしくお願いたします。

とこうぞい存知でしょうか。

今年、さくら組とも組が之階のバ
ランを育ててくるミニトマトと茄子
が実りはじめました。

手作りの「ご馳走」が、子どもたちの
お口に入るのも間近です。

「ご馳走」の語源は、たぐいの人を走り
まわり、水やりや草取り、追肥など
細やかな手が加わること、ようやく食卓
にのぼる「感謝」だという説を、
つい先日の新開を讀みました。
ひと粒のミニトマトにも、たぐいの人
物語があつて、「感謝」が伴うこと
を改めて教えられるました。
「子どもたちは今、ミニトマトと茄子
を育てるやまの、栽培という範囲
をはるかに超えて、「感謝」を受け
ています。

「ご馳走」を、お福分けでいただくひ
と、たぐい、ほ、うめ組の子どもたち
も、感謝と思ひやりが育つことに
違ひありません。

7月7日は七夕です。

七夕の夜、笹姫と彦星は一年ぶりの
「出合い」を叶えます。

「出合い」というのは、遭遇とは違
てお互いに向い、影響を与えあ
うものを表すときに使います。

そして感謝しあう。
そのから、子どもたちにはこれから
も、良き大人たち、いい仲間たちと
出合い、いい影響を与えあえ、
しいーこれが七夕にかける松の
実の願いです。

夏まつりを終り、親子を楽
しむことも園「松の実」は、
総この親子が、「出合い」を
叶えられる場にならなけれ
ばならぬと改めて強く思う
七月を迎えます。

園長 福田孝子